

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度の取組み状況	平成14年度の取組み予定
<p>○ 子育ての楽しさについてPRする全国的なキャンペーンとして、「家庭の風景、三行詩キャンペーン」を実施する。 (日本PTA全国協議会)</p>	<p>【日本PTA全国協議会】</p> <p>○ 12年度に三行詩・写真を全国より募集し大きな成果をあげたが、「子育ては楽しい」ということをPRしていくことは、国にとっても、保護者にとっても重要な使命であると考えられる。</p> <p>このため、13年度は12年度に実施した“家庭の風景／三行詩・写真のコンクール”を行うほか、作品集の内容をより充実させ、子育ての楽しさの啓蒙を図った。</p> <p>〔地方組織等の取組み〕</p> <p>○ 12年度の「楽しい子育て全国キャンペーン」の一環として、三行詩・写真の全国公募を実施したが、これを踏まえ、日本PTAの各ブロック研究大会、全国研究大会においてシンポジウムを開催し、子育ては楽しいことだというキャンペーンの全国展開を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 全国研究大会（平成13年8月31日～9月1日・秋田市他、1,000人） ◇ 関東ブロック大会（平成13年10月19～20日・茨城県、500人） ◇ 中国ブロック大会（平成13年10月26～27日・広島市、4,200人） ◇ 四国ブロック大会（平成14年2月9日・徳島市、300人） ◇ 九州ブロック大会（平成13年10月27～28日・北九州市、1,600人） 	<p>【日本PTA全国協議会】</p> <p>○ 13年度に三行詩・写真を全国より募集し大きな成果をあげたが、「子育ては楽しい」ということをPRしていくことは、国にとっても、保護者にとっても重要な使命であると考えられる。</p> <p>このため、14年度は13年度に実施した“家庭の風景／三行詩・写真のコンクール”を行うほか、作品集の内容をより充実させ、子育ての楽しさの啓蒙を図る。</p> <p>〔地方組織等の取組み〕</p> <p>○ 13年度の「楽しい子育て全国キャンペーン」の一環として、三行詩・写真の全国公募を実施したが、これを踏まえ、日本PTAの各ブロック研究大会、全国研究大会においてシンポジウムを開催し、子育ては楽しいことだというキャンペーンの全国展開を図る。</p>

2 子どもを産み育てやすい地域の環境整備

安心して妊娠・出産や子育てができるようにするための保健医療面での取組み、子育て家庭を地域で支えていくための取組みを進める。

(1) 保健医療の面での取組み

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度の取組み状況	平成14年度の取組み予定
<p>○ 新たに母子保健医療体制の整備が盛り込まれた新エンゼランと連携し、周産期医療ネットワークや小児救急医療体制の整備など、地域における母子保健医療体制を充実する。診療所等での乳幼児健康支援一時預かり（病気回復期にある乳幼児の保育）事業の実施が進むよう情報提供などの支援を行うとともに、新たに保育所でも実施できるようになったことを受けて、その普及に向け支援する。</p> <p>定期検診などを通じて親子の心身の健康づくりを進めるとともに、保育所嘱託医・幼稚園医の活動の活性化により乳幼児の保健管理を充実する。</p> <p>乳幼児保健活動を円滑に実践するための講習会を実施するほか、地域における子育て支援の中で医療面からの協力を進める。</p> <p>学校医を中心として適切な性教育や性感染症の予防を進める。</p> <p>不妊専門相談センター事業への協力と不妊治療等により、不妊に悩む人への支援を行う。</p> <p style="text-align: right;">（日本医師会）</p>	<p>【日本医師会】</p> <p>○ 平成13年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催。「産婦人科における患者の安全について－緊急搬送体制を中心として」</p> <p>○ 平成13年度乳幼児保健講習会の開催。「子どもが心身ともに健やかに育つための育児支援を考える。」</p> <p>○ 出産前小児保健指導事業（プレネイタル・ビジット）のモデル事業の実施。</p> <p>○ 乳幼児保健検討委員会の開催及び報告書の作成。「会長諮問：乳幼児の健全な心の発達に果たす医師及び医師会の役割－育児支援を含めて－」</p> <p>○ 小児救急医療体制のあり方に関する検討委員会（プロジェクト）の設置と報告書の作成「会長諮問：小児救急医療体制のあり方に関する具体策について」</p> <p>○ 麻しん（はしか）予防接種の推進ポスターの作成。</p> <p>〔地方組織等の取組み〕</p> <p>（別紙1のとおり）</p>	<p>【日本医師会】</p> <p>○ 平成14年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催。</p> <p>○ 平成14年度乳幼児保健講習会の開催。</p> <p>○ 乳幼児保健検討委員会の開催。</p> <p>○ 麻しん（はしか）予防接種推進ポスターキャンペーンの実施</p> <p>〔地方組織等の取組み〕</p> <p>（別紙1のとおり）</p>

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度の取組み状況	平成14年度の取組み予定
<p>○ 妊娠・出産や子育てに対する保健面からの支援として次の点について具体的に検討し、取組みを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出産の場の選択肢が広げられるような情報の提供など、妊娠・出産が女性にとってより良い体験となり、また、家族全員にとって新しい命の誕生を共有できるような体験となるための支援 ・ 出産後の里帰りの増加への対応など、出産から間もない時期の子育て支援 ・ 乳幼児健康支援一時預かり事業の充実 ・ 虐待や暴力の予防と問題を抱える人への支援 <p>看護職が地域で健康についての相談などの機能を担う「まちの保健室」構想の具体化を進める。</p> <p>不妊に関する相談、快適な出産を実現するためのケア、地域での子育て支援など、少子化対策における助産婦の役割について検討する。</p> <p>先進的な取組みについて、その普及を図るため、会報などで地方組織に紹介する。</p> <p style="text-align: right;">(日本看護協会)</p>	<p>【日本看護協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「少子社会と母子保健」「女性と健康」「フリースタイル出産の援助技術」「参加型妊産婦トレーナーズ研修」「生殖医療と看護の役割」「患児・家族への看護」などをテーマとした研修会の開催。(看護教育・研究センター、神戸研修センター) ○ 認定看護師の新分野として「新生児集中ケア」を特定。 ○ これまで実施したモデル事業の成果の普及。 ○ 「まちの保健室」における妊娠・出産及び子育て相談、思春期相談、結婚相談などの実施。 ○ 助産師に向けたリプロダクティブヘルスに関する情報提供。 ○ 「国際助産師の日に」にかかわるポスターの作成。 ○ 消費者サービスのニーズを反映した医療機関における助産ケアの質向上にかかわる自己点検・自己評価表の作成。 ○ 「協会ニュース」を通じ、児童虐待などの先駆的な取組みを会員へ周知。 <p>〔地方組織等の取組み〕</p> <p>(別紙2のとおり)</p>	<p>【日本看護協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「フリースタイル出産の援助技術」「参加型妊産婦トレーナーズ研修」「子どもと家族への看護・支援」などをテーマとした研修会の開催。(看護教育・研究センター、神戸研修センター) ○ 不妊看護認定看護師の養成開始 ○ 「まちの保健室」を通じた妊娠や出産、子育て相談事業の推進。 ○ 助産師に向けたリプロダクティブヘルスに関する情報提供。 ○ 「国際助産師の日に」にかかわるポスターの作成。 ○ 消費者サービスのニーズを反映した医療機関における助産ケアの質向上にかかわる自己点検・自己評価表の作成。 ○ 「協会ニュース」を通じた先駆的な取組みの会員へ周知。 <p>〔地方組織等の取組み〕</p> <p>(別紙2のとおり)</p>

《今後、検討する取組み》

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度の取組み状況	平成14年度の取組み予定
<p>○ 小児科医が産婦人科医との連携の下で保健指導を行うことにより、妊産婦の子育てへの不安の解消を図るプレネイタル・ビジットなど、医療面でのネットワークづくりについて検討する。</p> <p style="text-align: right;">(日本医師会)</p>	<p>【日本医師会】</p> <p>○ 平成13年度少子化対策の一環として、妊産婦の育児に対する不安解消のため、小児科医等の育児に関する保健指導を受けられる出産前小児保健指導事業（プレネイタル・ビジット）を国の補助と日医の助成によるモデル事業として、全国46か所の医師会において実施。</p>	<p>【日本医師会】</p> <p>○ 平成13年度に全国46か所で実施した産婦人科医・小児科医地域連携事業・出産前小児保健指導（プレネイタル・ビジット）モデル事業の結果報告を取りまとめ、この事業の有効性を検証。</p>
<p>○ 地域子育て支援センター等を活用して住民に身近なところで健康相談等に応じる体制の整備について、保育関係者と連携しながら検討する。</p> <p style="text-align: right;">(日本医師会、日本保育協会)</p>	<p>【日本医師会】</p> <p>○ 地域子育て支援センター等の推進</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【日本保育協会】</p> <p>○ 「13年度地域子育て支援センター担当者研修会」を開催。</p>	<p>【日本医師会】</p> <p>○ 地域子育て支援センター等の推進</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【日本保育協会】</p> <p>○ 「14年度地域子育て支援センター担当者研修会」を開催予定。</p>
<p>○ 若年妊産婦への心身両面からの支援ほか、次の点について具体的な取組みを検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病気や障害とともに生きる子どもと親を支援するための看護職間のネットワークづくり ・ 成長発達と性に関する中・高校生への教育を充実するための、学校や教育委員会と看護職の連携方策 <p style="text-align: right;">(日本看護協会、全国都道府県教育委員会連合会)</p>		

(2) 地域における交流や地域の特性に応じた取組み

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度の取組み状況	平成14年度の取組み予定
<p>○ 子育て中の親同士が出会える場や、悩みを相談できる場、学び合う場を作り、専業主婦と職業を持つ母親達との連携など、それぞれのニーズに応じた取組みを進める。 愛の一声運動、家庭の日、三世代交流など、世代を超えた連帯を深めるための活動を推進する。 子どもを取り巻く家庭や地域の教育力の回復を図る観点から、家庭教育の見直し、テレビや出版物の点検など環境の浄化を推進する。 (全国地域婦人団体連絡協議会)</p>	<p>【全国地域婦人団体連絡協議会】</p> <p>○ 各地における子育て支援活動、地域の特色を生かした様々な取組み状況を実態調査し、そこから各地の実践活動を学び、地元で広がりのある活動としていくための全地婦連リーダー研修会を開催。あわせて地域婦人会の果たす役割を考えた。</p> <p>◇ テーマ：次代を担う子どもたちを健やかに育むために～考えなおそう、見なおそう、家庭・地域・社会で～</p> <p>◇ 会場：ヌエック国立女性教育会館</p> <p>◇ 実施時期：11月14日～16日（2泊3日）</p> <p>◇ 参加者：89人（各都道府県又は郡市婦連のリーダーとして活動し、研修成果を今後の地域活動に生かせる人）</p>	<p>【全国地域婦人団体連絡協議会】</p> <p>○ 各地における子育て支援活動、地域の特色を生かした様々な活動を学び、地元で広がりのある活動としていくための全地婦連リーダー研修会を開催する。（継続）</p>
<p>○ 都市部に比べ高い水準の平均出生児数を維持している農村地域を女性にとって魅力あるものとし、女性の定住が進むよう、次の環境整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性にとって快適な農業生産の環境づくり ・ 農業経営における女性の参画の促進と自立支援 ・ 安定した農業経営と所得の確保 ・ 地域資源を活かした女性起業の支援 ・ 安心して安全に暮らせる生活環境の整備と地域づくり <p>(全国農業協同組合中央会)</p>	<p>【全国農業協同組合中央会】</p> <p>○ 地産地消によるファーマーズマーケットなどの推進による女性の起業支援。</p> <p>○ 女性農業者子育て支援に関する調査の実施。</p>	<p>【全国農業協同組合中央会】</p> <p>○ 地産地消を通じた女性の起業支援。</p> <p>○ 女性農業者子育て支援に関するモデル事業の実施。</p> <p>○ 農山漁村の少子化の現状、影響等の調査。</p>
<p>○ 新エンゼルプランの推進などについて、国の施策の活用を図りつつ、さらに地域の特性に応じた施策の推進を図るため、地方公共団体相互の情報交換拠点として、都道府県、市、町村の施策に関する情報を蓄積するとともに、会報、ホームページ等により提供する。 (全国知事会、全国市長会、全国町村会)</p>	<p>【全国知事会】</p> <p>○ 機関誌「都道府県展望」の特集として、平成14年1月号において、少子高齢化の進展に対応していくうえで緊要な課題である男女共同参画社会問題を取り上げた。</p>	<p>【全国知事会】</p> <p>○ 少子化対策、男女共同参画社会の実現に関し、機関誌「都道府県展望」平成14年8月号の特集として、ドメスティック・バイオレンス問題を取り上げる予定である。</p>

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度取組み状況	平成14年度取組み予定
	<p>【全国市長会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会報（4月15日）及びホームページに「少子化への取組みについての全国キャンペーン」入選作品を掲載。 ○ 会報（10月15日）及びホームページに「第1回少子化対応推進全国フォーラム」開催についての広報を掲載。 ○ 各支部・都道府県市長会における少子化対策に関する取組み及び他団体との連携事業についての調査を実施。（平成14年2月） <p>〔地方組織等の取組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 青森県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 青森県児童環境づくり推進協議会に構成団体として参画。 ○ 岩手県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 岩手県子育てにやさしい環境づくり推進協議会に委員として参画。 ○ 福島県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 福島県子育て・子育て環境づくり推進会議に構成団体として参画、官民一体となって検討・協議。 ○ 石川県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ （財）石川県子育て支援財団に理事として参画。 ○ 埼玉県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 平成13年度彩の国少年の主張大会を後援。 ◇ 彩の国“夢”子どもフォーラム大会を後援。 	<p>【全国市長会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国民会議の動向や取組みなどを会報及びホームページ等に掲載し、周知を図る。 ○ 機関誌「市政」6月号に、「特集 地域で支える子育て環境の創造」を掲載。 ○ 長崎県佐世保市において「子どもの健やかな成長と都市」をテーマに「全国都市問題会議」を開催。（平成14年10月31日～11月1日） ○ 各支部・都道府県市長会における少子化対策に関する取組み及び他団体との連携事業についての調査を実施。（継続） <p>〔地方組織等の取組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 福島県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 福島県子育て・子育て環境づくり推進会議に構成団体として参画、官民一体となって検討・協議。 ○ 石川県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ （財）石川県子育て支援財団に理事として参画。 ○ 岡山県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 岡山県子どもを健やかに生み育てるための環境づくり推進協議会に構成員として参画し、県が行う啓発事業を後援。 ○ 島根県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 島根県総合社会福祉大会、島根県里親大会、青少年を非行から守り健やかに育む島根大会を後援。

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度の取組み状況	平成14年度の取組み予定
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山梨県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 山梨県「少子化問題を考える懇話会」に委員として参画。 ◇ 山梨県保育大会、山梨県社会福祉大会、山梨県クラブ親睦球技大会、手足の不自由な子どもをはげます運動を後援。 ○ 滋賀県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 滋賀県少子化対策推進県民会議に構成団体として参画。 ○ 奈良県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 夢ある家庭、夢ある子育てを推進する県民会議に構成団体として参画。 ○ 岡山県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 岡山県子どもを健やかに生み育てるための環境づくり推進協議会に構成員として参画し、県が行う啓発事業を後援。 ◇ 主催講演：総会及び記念講演「子育ての目的は何ですか」（10月2日） ◇ 「みんなで考えよう児童虐待防止、おかやま子育て応援シンポジウム」（11月19日）、「子育て交流フォーラム」（11月24日）を後援。 ○ 島根県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 島根県総合社会福祉大会、島根県里親大会、青少年を非行から守り健やかに育む島根大会、全国保育研究大会を後援。 ○ 香川県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 「子育てメッセージの募集」及び「少子化を考えるフォーラム」を後援。 ○ 宮崎県市長会 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 宮崎県児童環境づくり推進協議会に構成団体として参画。 	

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度の取組み状況	平成14年度の取組み予定
	<p>○ 沖縄県市長会 ◇ 沖縄県児童環境づくり推進協議会に委員として参画。</p> <hr/> <p>【全国町村会】 ○ 広報誌（町村週報）により全町村及び全国会議員、関係省庁等に少子化対策の内容を周知。</p> <p>○ 少子化対策の推進については、社会福祉施策の重点項目の一つに位置づけ、臨時全国町村長大会（平成13年7月5日）、全国町村長大会（平成13年11月28日）で、「少子化対策の推進」を決議した。</p>	<p>【全国町村会】 ○ 広報誌（町村週報）により全町村及び全国会議員、関係省庁等に少子化対策の内容を周知。</p>

《今後、検討する取組み》

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度の取組み状況	平成14年度の取組み予定
<p>○ 中・高校生が乳幼児とふれあいながら子育ての意義や家庭を持つことの重要性を学ぶ機会を充実させるため、幼稚園・保育所体験学習の受入れを進めることについて検討する。 (全日本私立幼稚園連合会、全国国公立幼稚園長会、全国社会福祉協議会、日本保育協会)</p>	<p>【全国国公立幼稚園長会】 ○ 全国の国公立幼稚園の園長・副園長・教頭・主任を対象に、これからの幼稚園運営について解説した「幼稚園運営のポイントQ&A」を刊行（平成13年5月）。 ◇ 中・高校生の幼稚園体験学習の必要性や実践例などについて解説し、受入れについての理解を図った。</p> <hr/>	<p>【全国国公立幼稚園長会】 ○ 全国の国公立幼稚園の園長・副園長・教頭・主任を対象に、これからの幼稚園運営について解説した「幼稚園運営のポイントQ&A」により啓発活動を進める。 ◇ 中・高校生の幼稚園体験学習の必要性と受入についての理解を図る。</p> <hr/> <p>【全国社会福祉協議会】 ○ 文部科学省による「ボランティア活動など社会奉仕体験活動等の推進」を受け、保育所・児童養護施設・母子生活支援施設・乳児院などの社会福祉施設における受入れを推進するとともに、受入れの際の留意点をまとめるなど、その効果的な実施を進める。</p>

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度取組み状況	平成14年度取組み予定
	<p>【日本保育協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各支部の会員保育園において実施か所数は把握していないが、中高校の職場体験学習の一環として保育体験学習の受け入れを実施。 ○ 各支部の会員保育園において実施か所数は把握していないが、中高校生ボランティアの受け入れを実施。 	<p>【日本保育協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成13年度取組みを継続して実施予定。 ○ 平成13年度取組みを継続して実施予定。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地方公共団体における少子化対策に関する調査を実施することについて検討する。 (全国知事会、全国市長会、全国町村会) 	<p>【全国市長会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各支部・都道府県市長会における少子化対策に関する取組み及び他団体との連携事業についての調査を実施。 <p>【全国町村会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成12年度の地方公共団体（町・村）における少子化への取組み状況調査を実施し、平成13年7月に調査結果を報告した。 	<p>【全国知事会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 少子化対策の充実に資するため、都道府県における施策の実施状況、今後の課題等、専門的、実務的な面にわたり必要な調査を実施する。

(3) 地域における子育て支援と児童虐待への取組み

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度取組み状況	平成14年度取組み予定
<p>○ 新エンゼルプランと連携して在宅児も含めた子育て支援を進めるため、保育所等において、地域子育て支援センター（相談、育児サークル支援等を実施）や、一時保育（専業主婦家庭の休養・急病等に対応）への取組みを拡大する。特に、新エンゼルプランに新たに訪問型の一時的保育が盛り込まれたことを受け、これを推進する。 （全国社会福祉協議会、日本保育協会）</p>	<p>【全国社会福祉協議会】</p> <p>○ 「子育て家庭支援のための『ふれあい子育てサロン』活動の開発のための調査研究事業」の実施（平成13年度～15年度の3年計画）</p> <p>◇ 13年度は全国の市町村社協を対象に実態調査と現地調査を実施し、その活動状況の報告書及び事例集を作成。また、平成14年3月1日に全国セミナーを開催。</p> <hr/> <p>【日本保育協会】</p> <p>○ 機関誌「保育界」（月刊誌）に、子育て支援等に関する新規施策を掲載し、制度の周知を図った。</p> <p>○ 日本保育協会会員には、ファクシミリネットワークにより、子育て支援等に関する新規施策を速報として通報し、事業の推進を図った。</p>	<p>【全国社会福祉協議会】</p> <p>○ 「子育て家庭支援のための『ふれあい子育てサロン』活動の開発のための調査研究事業」の実施（平成13年度～15年度の3年計画）</p> <p>◇ 14年度は「ふれあい・子育てサロン」活動の新規立ち上げ・普及のための教材開発などを実施予定。</p> <hr/> <p>【日本保育協会】</p> <p>○ 平成13年度取組みを継続して実施予定。</p> <p>○ 平成13年度取組みを継続して実施予定。</p>
<p>○ 幼稚園においても、子育て相談の実施や井戸端会議の場の提供など、地域に開かれた子育てのセンターとしての取組みを推進する。 このため、幼稚園における子育て支援事例を取りまとめるとともに、相談員の育成のための研修会を実施する。 （全日本私立幼稚園連合会、全国国公立幼稚園長会）</p>		<p>【全日本私立幼稚園連合会】</p> <p>○ 中高生の幼稚園における体験学習の受け入れを推進するため、環境整備を進める。</p> <p>〔地方組織等の取組み〕</p> <p>○ 子育て支援は親育てという視点で、各幼稚園において子育て相談や公開講座の開催、井戸端会議や子育てサークルの場の提供、おやこ教室の開催、地域子ども図書館の設置・運営等、地域に開かれた子育て支援センターとしての取組みを進める。</p> <p>○ 中高生の保育体験の受け入れや小学校との交流を積極的に進め、青少年が幼児と触れ合う機会を増やす。</p>

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度の取組み状況	平成14年度の取組み予定
	<p>【全国国公立幼稚園長会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国公立幼稚園における今後の子育て支援の推進に関する調査研究の実施－少子化対策をふまえた地域の幼児教育センターとしての機能－ ◇ 第2年次 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教育センターとしてのモデルプランの提案 ・ 地域における子育て支援ネットワークの整備推進（インターネットの活用を含む。） ・ 子育て支援事業実践の集約と今後の取組みに関する報告書の作成 <p>〔地方組織等の取組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の国公立幼稚園において、幼児教育センターとしてのモデルプラン作成のための実践。 ◇ 全国7ブロック（北海道・東北、関東・甲信越、東海・北陸、近畿、中国、四国、九州・沖縄）の代表園において、教育相談事業、子育て支援に関する各種講座の開催、地域の幼児に遊び場や機会を提供し援助する事業、預かり保育等の子育て支援事業並びにインターネットの活用等を含む子育てネットワークのプランを実施。 	<p>【全国国公立幼稚園長会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 親や地域の願いやニーズを生かした地域と共に歩む子育て支援の推進に関する調査研究を実施。 ◇ 第1年次 <ul style="list-style-type: none"> ・ モデルプランを活用した子育て支援事業の実施（複数か所） ・ モデルプラン実施に伴う問題点や感想についての実態調査（幼稚園児・保育所入所児・未就園児の親や幼稚園を対象）を実施。 ・ モデルプラン実施地区の視察及び聞き取り（全国8地区） <p>〔地方組織等の取組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の国公立幼稚園において、モデルプランを活用した子育て支援事業を実施。 ◇ 8つの子育て支援モデルプランの実施 <ol style="list-style-type: none"> ① 子育て学習の場としての幼稚園 ② インターネットによるホームページ、電子メールの活用 ③ 子育てサポーターを積極的に取り入れた子育て支援・育児相談 ④ 父親の交流や子育てへの参加、学び合いを応援するための場の提供 ⑤ 保護者のニーズに応じた緊急の預かり保育 ⑥ 保護者のボランティア活動やサークル活動を地域に広げる取組み ⑦ 幼児教育に関する情報の収集と発信する機能 ⑧ 地域における子育て支援ネットワーク
<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育所・託児所の設置・運営についての助言や子ども会の支援など、各地商工会議所の先進事例をホームページ等で紹介する。 <p style="text-align: center;">（日本商工会議所）</p>		

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度の取組み状況	平成14年度の取組み予定
<p>○ 大阪府、兵庫県など地方公共団体の取組みにも参加し、企業の役割と地域の活動を連携させるよう努める。 (関西経済連合会)</p>		<p>【関西経済連合会】 ○ 大阪府子ども環境づくり推進協議会の委員として「大阪府子ども総合プラン（仮称）」の検討に携わるなど、地方自治体との連携を図る。</p>
<p>○ 活動推進プランの作成、研修の実施等により、児童委員による計画的・組織的な子育て支援活動を推進する。 育児不安や非行などの問題に対応するため、児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設において、専門的な養育相談を推進する。また、これらの施設において保護者の急病等に対応するショートステイ・トワイライトステイの利用を促進する。 児童、家庭、地域住民からのさまざまな相談に応じて専門的な指導や援助等を行う児童家庭支援センターの設置を促進するとともに、関係機関・団体とのネットワークの構築などにより課題への対応力を強化する。 児童虐待問題について、次のとおり取組みを強化する。 ・ 「児童虐待防止緊急アピール」（平成11年11月17日全国民生委員児童委員連合会）に沿って、関係機関・団体とも連携した児童委員による活動を展開する。 ・ 児童養護施設等において、被虐待児の処遇向上のための研修や調査、心理療法の実施、処遇困難な課題に対する新しい援助技術の開発などを行う。 ・ 母子生活支援施設において、夫等による暴力を受けた母子の広域措置、緊急一時保護などの取組みを強化する。 児童虐待防止のための地域でのネットワークを構築するため、保健医療や教育など様々な分野の団体と連携しながら検討を進める。 (全国社会福祉協議会)</p>	<p>【全国社会福祉協議会】 ○ 12年度に策定した「児童委員活動強化推進方策」に基づき、特に地域における子育て不安の解消や児童虐待防止など児童委員活動の発展・充実を図った。 ○ 保育所などで子育て相談に携わる者を対象とした「子育て相談・援助技術専門研修会」を平成13年8月1日～3日に開催。 ○ 保育所における「児童虐待防止キャンペーン」の実施。 ◇ 地域の児童虐待の早期発見・早期通報などの対応を保育所における重要な役割の一つと捉え、「児童虐待防止キャンペーン」を実施。平成13年10月19日に「児童虐待防止に向けての緊急アピール」を採択するとともに、パンフレットの配布、保育所の取組み事例集の作成、研修会での啓発活動を実施。 ○ 「児童養護施設における児童虐待への対応事業」の実施。 ◇ 児童養護施設における心理的援助の実態と児童家庭支援センターの取組み状況についての調査を実施し、その調査の報告書の作成と「児童養護施設における心理的援助のあり方セミナー」を平成14年2月26日に開催。</p>	<p>【全国社会福祉協議会】 ○ 児童福祉法の改正（児童委員の職務の明確化、主任児童委員の法制化）を受けて児童委員活動マニュアルの改訂を行うとともに、子育て支援活動（地域の子育てネットワークづくり、子育てサロン（サークル）等の具体的活動）の推進を図る。 ○ 保育所による地域子育て支援への取組み事例集を作成し、取組みの推進を図る。 ○ 「子育て相談・援助技術専門研修会」を平成14年7月29日～31日に開催予定。 ○ 「児童福祉施設における被虐待児個別対応職員のあり方に関する調査研究事業」の実施。 ◇ 乳児院と児童養護施設の被虐待児個別対応職員のあり方について調査研究を実施予定。 ○ 「児童虐待防止事業」を平成14年度・15年度に実施する。児童関係機関・団体等と連携した児童虐待防止に関する事業を展開するため、市町村社会福祉協議会に助成を行い、地域におけるきめ細かな活動の促進を図る。</p>

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度取組み状況	平成14年度取組み予定
<p>○ 児童虐待について適切かつ早期の対応を図るには関係機関・団体間の連携が重要なことから、上記の検討が円滑に進むよう積極的に協力する。 (日本医師会、日本看護協会、日本保育協会、全国国公立幼稚園長会、全日本私立幼稚園連合会、全国都道府県教育委員会連合会、日本PTA全国協議会、全国地域婦人団体連絡協議会)</p>	<p>【日本医師会】</p> <p>○ 児童虐待に関する調査及び「医師のための児童虐待の早期発見と防止マニュアル」の作成。</p> <p>[地方組織等の取組み] (別紙1のとおり)</p>	<p>【日本医師会】</p> <p>○ 「医師のための児童虐待の早期発見と防止マニュアル」の作成(継続)。</p> <p>[地方組織等の取組み] (別紙1のとおり)</p>
	<p>【日本看護協会】</p> <p>○ 「児童虐待予防対策委員会」の設置。</p> <p>○ 看護職に向けた子ども虐待の予防と早期発見・支援にかかわる指針の策定。</p> <p>○ 保健師による乳幼児期の子育て支援のあり方の検討。</p> <p>○ 「まちの保健室」での虐待ホットラインなど電話相談の実施や虐待問題を抱える母親の自助グループの支援。</p> <p>○ 先駆的保健活動交流推進事業「保健所保健活動モデル事業」における子どもの虐待予防活動の実施。</p> <p>[地方組織等の取組み] (別紙2のとおり)</p>	<p>【日本看護協会】</p> <p>○ 「児童虐待予防対策委員会」の設置。</p> <p>○ 看護職に向けた子ども虐待の予防と早期発見・支援にかかわる指針の配布。</p> <p>○ 児童虐待予防活動と連携に関する手引きの作成と配布</p> <p>○ 子ども虐待の予防対策に向けた看護職者間の連携の促進とネットワークづくり。</p> <p>○ 子どもの虐待対策に先進的な医療施設の取り組みの把握と紹介。</p> <p>○ 情報発信と交換のための交流会の開催。</p> <p>[地方組織等の取組み] (別紙2のとおり)</p>
	<p>【日本保育協会】</p> <p>○ 機関誌「保育界」に「児童虐待防止法」に関する学識経験者の論文を掲載(8月号、9月号)し、意識啓発を行った。</p>	<p>【日本保育協会】</p> <p>○ 平成13年度取組みを継続して実施予定。</p>
		<p>【全日本私立幼稚園連合会】</p> <p>○ 乳幼児虐待に対し、各都道府県団体から情報を収集するとともに、各々の幼稚園で適切な対応ができるよう、事例などを紹介したり研究会を設ける。</p>

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度取組み状況	平成14年度取組み予定
		<p>〔地方組織等の取組み〕</p> <p>○ 乳幼児虐待に対して関係機関と連携して適切かつ早期の対応を図ることは勿論のこと、家庭という密室の中で向き合っている親子を外に連れ出し、仲間作りをサポートするなど、虐待を防ぐための親への援助を積極的に行う。</p>

《今後、検討する取組み》

「国民的な広がりのある取組みの推進について」事項	平成13年度取組み状況	平成14年度取組み予定
<p>○ 各地商工会議所における先進的な取組みが他地区商工会議所においても地域の実情に応じた形で取り入れられるような方策について検討する。</p> <p>(日本商工会議所)</p>		
<p>○ 子育て支援活動を実施するNPO（非営利団体）への人材情報の提供について検討する。</p> <p>(日本経営者団体連盟)</p>	<p>【日本経営者団体連盟】</p> <p>○ 平成13年4月から退職者を含む勤労者のNPO活動、ボランティア活動への参加推進を目的とした勤労者マルチライフ支援事業を展開。子育て支援を行っているNPOから本事業への情報提供の可能性等について検討した。</p>	
<p>○ 放課後児童クラブの充実のための取組みについて検討する。</p> <p>(日本労働組合総連合会)</p>		